

# 薬用植物園かわらばん

いま、こんな草木も楽しめますよ！  
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2020年  
10月12日  
第104号

## ウコン (ショウガ科)

今、第三圃場ではウコンの花が見られます。花は黄色で白い苞葉のほうが目立ちます。花が秋に咲くので、別の種であるハルウコンに対してアキウコンとも呼ばれます。熱帯アジア原産の多年草で、関東以西の温暖な場所で栽培されています。根茎からスパイスのターメリックが作られ、カレー粉の原料やたくあんの着色、草木染に、また防虫作用を期待して着物を保存する「たとう紙」や風呂敷の染色に使われます。また、根茎は生薬の鬱金（ウコン）にもなり、腫れ物の初期、打ち身、ねんざに外用する漢方薬の中黄膏に配合されています。なお、この植物の根茎を原料とする生薬の中国語名は「姜黄 jiāng huáng」で、中医学で活血薬として使用します。一方、中国語の「郁金 yù jīn」（日本語の発音でウンと読めます）は、ウコンの根を原料とする生薬で、中医学で利胆を目的に使用します。二日酔いの予防のためには、日本のウコンの根茎ではなく、中国の郁金＝ウコンの根を使う方がよいかもしれません。

## キクイモ (キク科)

第一圃場でキクの花に似た黄色の花が咲いています。北アメリカ原産で、江戸時代末期にイギリスより飼料用作物として渡来した帰化植物です。地下の塊茎を、戦中、戦後の食料難の食料にするために各地で栽培されました。シシイモ、ブタイモ、カライモの別名もあります。ただ、含む他の芋類とは異なり、デンプンの代わりに私たちが消化しにくいフルクトース重合体であるイヌリンを含み、食物繊維として働きます。キクイモは果糖の製造原料として利用するほか、満腹感を与えるためのダイエット用健康食品などにも使用されています。

いま、マルバハギの花も見ごろですよ！！